

知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

1 団体名

(公財) 東京防災救急協会

2 実施日時

令和元年7月9日(火) 11時29分～11時37分

3 出席者

- ・団体側出席者：松川理事長、湯浅事務局長
吉田企画調整部長(東京消防庁)
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長、
小林行政改革推進部長

4 議事概要

○小池知事

防災館への来館者は外国人の方も多いということだが、そういった方たちは日本に住んでいる方なのか、旅行者なのか。

○松川理事長

留学生や外国人労働者が就職後に、就職した企業の教育の一環として来られる方が多い。

○小池知事

東京2020大会やラグビーワールドカップのボランティアに対して、AEDの使い方など救命講習を実施していただくことが良いかと思うので、オリンピック・パラリンピック準備局とよく連携を取ってほしい。

○武市財務局長

消防団の皆さまに対して、講習を行うなど関わりがあるのか。

○松川理事長

消防団の方も、教育の一環として防災館に来て、いろいろな体験をされることもあるが、基本的には消防団への教育は東京消防庁で行っている。そのツールの一つとして、防災館などを活用することは当然ある。

○遠藤総務局長

マイタイムラインの作成について、取っ掛かりが難しいといったような話も聞いている。定着に向け、総務局から東京消防庁に協力をお願いしていると思うが、渡すだけではなく、是非、親子教室のような形で作っていただければと思う。

○小池知事

マイタイムラインが東京発の防災訓練の教材として定着できるように、指導の仕方などを磨いていただければと思う。